

お申込み・その他

申込用紙に必要事項を記入のうえ、下記申込先までFAXまたは電話等でご送付ください。
大会参加費は、下記の口座にお振込みください。(原則として事前振込をお願いします。)

参加費：3,000円、1,000円(学生)

※同時開催の「ICF研修会」の受講費と一緒に振込みも可能です。
その際、参加費は割引となります。
(研究大会+ICF研修会で(一般)4,000円、(学生)1,600円)

1) ATMからの振込の場合

ゆうちょ銀行 ○一九店(ゼロイチキュー)
当座預金 611720
口座名 総合リハビリテーション研究大会

2) 郵便局・ゆうちょ銀行で払込用紙を利用する場合

振替口座番号 00180-4-611720
口座名 総合リハビリテーション研究大会

申込締切：10月4日(金)

- ◆介助者等の大会参加および研修会費は無料です。介助者等の人数を申込用紙に記入してください。
- ◆手話通訳、要約筆記、点字プログラム、その他をご希望の方は申込みの際にご記入ください。

お申込み先 お問合せ先

公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会 企画課
〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1
TEL：03-5292-7628 FAX：03-5292-7630
URL：http://www.normanet.ne.jp/~rehab/ Mail：rehab@dinf.ne.jp

財団法人 石川県文教会館

〒920-0918 石川県金沢市尾山町10-5
TEL：076-262-7311
FAX：076-262-2779

交通案内

- バス
金沢駅より香林坊方面行「南町」下車、徒歩2分。
- お車
駐車スペースがございません。
ご来館の際は周辺の有料駐車場をご利用ください。
- 小松空港から
小松空港より金沢市内経由バスにて「香林坊」下車、徒歩10分。



第36回

総合リハビリテーション 研究大会

総合リハビリテーションの深化を求めて — 当事者の主体性と専門家の専門性 —

日時 2013年10月12(土)~13(日)

会場 財団法人石川県文教会館(石川県金沢市尾山町10番5号)

参加費 一般3,000円、学生1,000円

主催 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

後援

内閣府、厚生労働省、文部科学省、国土交通省、経済産業省、
(社福)全国社会福祉協議会、(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構、日本障害フォーラム、
(公社)日本リハビリテーション医学会、(公社)日本理学療法士協会、(一社)日本作業療法士協会、
(一社)日本言語聴覚士協会、全日本特別支援教育研究連盟、北國新聞社

生涯学習

日本理学療法士協会認定及び専門理学療法士履修ポイント取得可能(10ポイント)
日本作業療法士協会生涯教育制度ポイント取得可能(1日1ポイント)
日本言語聴覚士協会生涯学習ポイント取得可能

研修会 総合リハビリテーションにいかすICF

日時：10月12日(土) 16:15~19:15

16:15~19:15
同時開催
ICF研修会

講師：上田 敏((公財)日本障害者リハビリテーション協会顧問、元東京大学教授)
大川 弥生((独)国立長寿医療研究センター 生活機能賦活研究部 部長)
参加費：2,000円、800円(学生) ※研究大会参加者は1,000円、600円(学生)
申込方法：総合リハビリテーション研究大会の申込み用紙または、
Eメールによるお申込み(seikatsu@ncgg.go.jp)

開催主旨

新生総合リハビリテーション研究大会(第33回~35回大会)では、「全人的復権」としての総合リハビリテーションとその実践をテーマに、理念の確認と実践のあるべき姿を議論してきました。
今日のリハビリテーションに関わる各専門領域では専門性が細分化する方向にあり、実践にあつては各専門領域の知識と技術が当事者の思いやニーズに優先して提供される現状があります。この状況は、当事者を専門知識からしか見ない、障害による制約を受けつつ意思をもって活動し、成長し続ける生活主体として見ないことをもたらすと危惧されます。リハビリテーションが「全人的復権」であるためには、益々、「総合」の意味が問われます。これより「全人的復権」をめざすリハビリテーションと成るためには、専門家の視点からだけでなく当事者の視点を重視してリハビリテーションを再考することが急務の課題と言えます。
「新生」を掲げた当初の「当事者中心」であることを中核に据えて、その意味をあらためて問い、深め、これに基づく実践の具現化を求めたいと思います。当事者の自己決定を活かして、当事者には主体性を求め、これを支えるための専門知識と技術の活かし方を掘り下げることで、専門家には、これまで細分化されて蓄積された知識と技術の体系を、当事者の自己実現に向けてさらに有効なものへと再構築することを求めたいと思います。

プログラム

1日目 10月12日(土)

9:30 ~ 9:35	開会挨拶 炭谷 茂((公財)日本障害者リハビリテーション協会会長)
9:35 ~ 9:40	開催地挨拶 小山 善子(金沢大会実行委員長)
9:50 ~ 11:10	特別報告 障害をめぐる動向 座長 小山 善子(金城大学医療健康学部教授) 国際動向：障害者をめぐる国際動向 演者 松井 亮輔((公財)日本障害者リハビリテーション協会副会長, 法政大学名誉教授) 国内動向：障害関連制度改革と障害者権利条約の批准 演者 藤井 克徳(日本障害フォーラム幹事会議長)
11:20 ~ 12:40	講演Ⅰ ー権利の保障と擁護の仕組みを地域でつくるー 座長 木村 伸也(愛知医科大学医学部教授) 演者 井上 英夫(金沢大学名誉教授)
12:40 ~ 13:40	休憩
13:40 ~ 14:50	基調対談 ー総合リハビリテーションの深化を求めてー 上田 敏((公財)日本障害者リハビリテーション協会顧問, 元東京大学教授) 吉川 一義(金沢大学人間社会研究域学校教育系教授)
15:00 ~ 16:00	講演Ⅱ ー障害者政策の動向：自立支援法から総合支援法へー 座長 吉川 一義(金沢大学人間社会研究域学校教育系教授) 演者 遅塚 昭彦(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部障害福祉課 地域生活支援推進室 相談支援専門官)
16:15 ~ 19:15	同時開催 ICF研修会「総合リハビリテーションにいかすICF」 講師 上田 敏((公財)日本障害者リハビリテーション協会顧問, 元東京大学教授) 大川 弥生((独)国立長寿医療研究センター 生活機能賦活研究部 部長)

2日目 10月13日(日)

9:00 ~ 12:00	シンポジウム 第1部 『自己実現』を支える総合リハビリテーション ー当事者の主体性を支える専門性の追究ー 座長 松矢 勝宏(東京学芸大学名誉教授) 阿部 一彦(東北福祉大学教授) パネリスト 河合 隆平(金沢大学人間社会研究域学校教育系准教授) 杉江 哲治(石川県教育センター指導主事) 永野 椎奈(金沢大学人間社会学域地域創造学類3年生) 指定討論 矢本 聡(仙台市泉区保健福祉センター障害者支援係長) 木村 伸也(愛知医科大学医学部教授)
12:00 ~ 13:00	休憩
13:00 ~ 16:00	シンポジウム 第2部 よりよい総合リハビリテーションの到達点を求めて ー専門領域の現状と課題から専門性の再構築ー 座長 大川 弥生((独)国立長寿医療研究センター 生活機能賦活研究部 部長) 伊藤 利之((福)横浜市リハビリテーション事業団 顧問) パネリスト (職業) 沖山 稚子(越谷市就労支援センター所長) (医療) 高岡 徹(横浜市総合リハビリテーションセンター医療部長) (看護) 泉 キヨ子(帝京科学大学医療科学部看護学科教授) (介護) 舟田 伸司(日本介護福祉士会 常任理事) (工学) 山内 繁((非特)支援技術開発機構理事長) (教育) 吉川 一義(金沢大学人間社会研究域学校教育系教授)
16:00 ~ 16:15	第37回大会(仙台大会)開催の案内 阿部 一彦(第37回大会実行委員会準備会代表)
16:15	閉会挨拶 松井 亮輔((公財)日本障害者リハビリテーション協会副会長, 法政大学名誉教授)